



## 【先週 1月26日～2月1日の外食の出来事】

### ■外食市場、増税後の苦戦鮮明 10～12月に伸び鈍化

外食市場の苦戦が消費増税後に鮮明になっている。業界団体の日本フードサービス協会(JF)が27日に発表した2019年10～12月の売上高は前年同期比0.4%増にとどまった。増税後は客数が伸びず、各業態とも苦戦している。

### ■スタバ、年100店の積極出店を継続 年内にモバイル予約全店で

スタバは2020年9月期に前期とほぼ同規模の100店舗の新規出店を計画していることを明らかにした。出店余地が狭まる中でも持ち帰り専用売り場を設けた新業態などを展開しながら店舗網を広げる。

### ■ブロンコビリー、2019年12月期(2019年1月～12月)の業績 減収減益

2019年12月期 通期の業績は売上高223億2400万円(対前年同期比0.5%減)、営業利益23億9500万円(同7.8%減)、経常利益24億5800万円(同7.9%減)、当期純利益15億4400万円(同13.6%減)であった。

### ■幸楽苑、台風19号被害など特別損失7億4千万円 保険カバーでダメージ僅か

幸楽苑が、台風19号による被害などで特別損失を7億4千万円計上。但し、保険受取金として内、5億6千万円が戻ってくる見込み。低収益店舗の閉店を進め、「収益重視型経営」へとシフトさせ、収益力は向上していく見込み。

### ■外食市場2019年年間5年連続プラス 台風19号・消費増税をデリバリーがカバー

日本フードサービス協会が、2019年1～12月の年間動向を発表した。FFの好調に支えられ、売上は5年連続で前年を上回った。全体の売上は101.9%。「FF」は洋風などを中心に、デリバリー、テイクアウト等が増加し好調。

### ■日本人シェフ初、フランスでミシュラン3つ星獲得

小林圭さん(42)がオーナーシェフを務めるパリの「KEI」がミシュランガイド2020の3つ星に選ばれた。フランスで日本人シェフが3つ星を獲得したのは初めて。2012年に1つ星を獲得し、2017年からは2つ星に昇格していた。

### ■プレナス、第3四半期(2019年3月～11月)の連結業績 減収増益

2020年2月期 第3四半期の連結業績は売上高1127億8600万円(対前年同期比2.4%減)、営業利益1億6700万円(一)、経常利益6億1500万円(同27.4%増)、四半期純損失9億4900万円(一)であった。

### ■DDホールディングス、第3四半期(2019年3月～11月)の連結業績 増収増益

2020年2月期 第3四半期の連結業績は売上高429億7600万円(対前年同期比12.5%増)、営業利益20億1900万円(同38.7%増)、経常利益20億8600万円(同41.9%増)、四半期純利益10億7200万円(同4.5%減)。

### ■ダイニングイノベーション、アジアで400店舗目標

ダイニングイノベーションが、香港とタイの進出においては香港の外食最大手であるマキシムグループと「焼肉ライク」FC契約を締結。アジア地域での出店強化。20年以内にバンコクに1号店を出店、続いて香港での出店を予定。